

科 目 名		学年	
国語Ⅳ : Japanese Ⅳ		4S	
教 員 名 中井 賢一 : NAKAI Kenichi			
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態
1	100分×15回	必修	講義・後期
学 修 単 位		○	
授 業 概 要	国語Ⅲまでに養った読解力・表現力を、生きて働く実践的なスキルとして定着させる。 自身の考えを、論理的に、かつ多角的観点から組み上げ、様々な表現形態を用いて伝えられるようにする。		
到 達 目 標		評 価 方 法	
(1)多角的視点から課題について捉えた論文が書ける。 (2)豊かな文学表現を用いて小説を構成できる。 (3)プレゼンテーションと質疑応答が適切に行える。		①課題・自学レポート(60%) ②試験(中間・期末)(30%) ③口頭試問(10%)	
学 習 ・ 教 育 目 標		G①	JABEE基準1(1) (f)
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	ガイダンス	授業の概要と、その取り組み方について理解する。
	第2	論作文①	二種のワークシートを用い、多角的な観点から課題を捉える方法を理解する。
	第3	論作文②	四段落構成法について確認し、課題「宇宙船(ライフボート)」に取り組む。
	第4	論作文③	要約の方法を確認し、課題文を要約した上で、課題「異文化理解」に取り組む。
	第5	論作文④	課題文を要約した上で、課題「生命と教育」に取り組む。
	第6	論作文⑤	データ分析の手法を理解した上で、課題「豊かな未来とは」に取り組む。
	第7	中間まとめ	論作文についてのまとめを行う。
	第8	小説創作①	小説の構成法を確認し、各自でプロットを組み立て、資料収集を行う。
	第9	小説創作②	プロット・資料をもとに、小説の創作を行う。
	第10	小説創作③	〃
	第11	プレゼンテーション①	自作小説の特徴と魅力について、プレゼンテーションを行う。レジュメの作り方や、質疑応答の仕方について理解する。
	第12	プレゼンテーション②	〃
	第13	プレゼンテーション③	〃
	第14	プレゼンテーション④	〃
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。 授業評価アンケートを行う。	
自学自習の内容	レポートを課す。		
関連科目	国語Ⅰ、国語Ⅱ、国語Ⅲ		
教科書			
参考書			
授業評価・理解度	最終回到授業評価アンケートを行う。		
副担当教員			
備考			